

「災害と人権」

～コロナ禍の中の災害を考える～ ～「共に生きる」人権学習講座2回目～

今回、講師の市社会同和教育指導員 大島信行先生に、災害時の避難に関する人権問題について教えてもらいました。

避難所では高齢者、外国人、障がい者など様々な人が同じ場所で過ごすことになり、支援の必要な人々への対応も含めて考えなければいけないことを学びました。

また、クロスロードでは最近の新型コロナウイルスの状況を反映した、「ウイルス感染の可能性を考慮したうえで避難所へ行くのか、少々危険でも自宅で待機するのか」など正解のない問題に、参加者それぞれの答えを出していました。

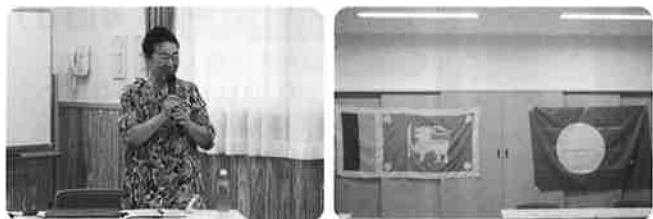


私たちにできる国際協力 ～思斉の郷「久保田塾」4回目～

今回の久保田塾講師はNPO法人「愛未来」理事長の竹下敦子先生でした。竹下さんはいろいろな国の人々が寄り添って、平和で共に生きる心やさしい社会づくりに貢献したいとの思いで活動されています。

日本と歴史的に関係の深い、スリランカやパラオとの交流を続けておられ、講義の中ではパラオ大統領と一緒に笑顔で写った写真を見せてもらい、友情の絆の強さを感じました。また、例年、さがバルーンフェスタの会場でスリランカカフェを開き、スパイスの効いたスリランカカレーなどを提供しPRにも一役買っておられます。

このように長年国際協力に積極的に尽力されている方が、私たちの身近にいることを知ることができ、非常に頼もしく思いました。



まなざしフェスティバル の開催中止について

令和2年11月7日(土)に開催を予定していた、「久保田町まなざしフェスティバル」は、3密を避けるなどの新型コロナウイルス感染症予防対策が困難であると判断し、開催中止と決定しました。

ニュースポーツを楽しむ ～思斉館大学3回目～

スポーツの日を目前にした、7月16日(木)に思斉館大学で佐賀市スポーツ推進委員 副島嘉子先生を講師に迎え、ニュースポーツの体験を行いました。

普段はイスに座って話を聴くことが中心ですが、今回は改善センターの多目的ホールで、体を動かす健康的な講座となり、「スカットボール」、「わなげ」、「いごてだま」の3種類の競技を行いました。

一通り全ての競技を体験したあと、5人ずつのチームに分かれて「いごてだま」で対抗戦を行いました。勝負になるとみなさん真剣に競技に集中し、勝利したチームはみんなで大変喜んでいました。



熱中症予防 × コロナ感染防止で 「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは、新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のことです。

暑い季節はマスク着用により、熱中症のリスクが高まります。マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなっています。「熱中症予防」と「新しい生活様式」を両立させましょう。

熱中症を防ぐためには・・・

- 屋外で人と2m以上(十分な距離)離れている時はマスクをはずしましょう。
- マスク着用時は激しい運動は避けましょう。
- 暑さを避けましょう。
- 喉が渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。
- エアコン使用中もこまめに換気をしましょう。
- 暑さに備えた体づくりと日頃から体調管理をしましょう。

※高齢者、子ども、障がい者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



◇ 熱中症に関する詳しい情報：
<https://www.wbgt.env.go.jp/>

